

「能登のアマメハギ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」  
のユネスコ無形文化遺産への登録について

平成30年11月29日、インド洋のモーリシャスで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約第13回政府間委員会において、「能登のアマメハギ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」のユネスコ無形文化遺産登録が決定した。

1 登録決定日：平成30年11月29日（木）

2 名称：来訪神：仮面・仮装の神々

(1) 構成：「能登のアマメハギ」を含む国指定重要無形民俗文化財10行事

(2) 所在地：石川県輪島市、能登町を含む全国8県11市町村

(3) 保護団体：能登のアマメハギ、面様年頭保存会を含む11団体

3 概要

「来訪神：仮面・仮装の神々」は、日本各地で仮面・仮装の異形の姿をした者が、「来訪神」として正月などに家々を訪れ、新たな年を迎えるに当たって怠け者を戒めたり、人々に幸や福をもたらす行事。

「来訪神」行事を構成する本県の「能登のアマメハギ」は、輪島市と能登町で伝承され、アマメハギやメンサマと称する神が人里を訪れ、家々を巡り歩き、正月などの新春を祝福する。



アマメハギ  
(輪島市門前町皆月)



アマメハギ  
(能登町秋吉)



面様年頭  
(輪島市輪島崎町)

登録が決定した来訪神行事 一覧(8県10行事)

県名	行事名	市町村名
鹿児島県	甌島のトシドン(S52)	薩摩川内市
秋田県	男鹿のナマハゲ(S53)	男鹿市
石川県	能登のアマメハギ(S54)	輪島市、能登町
沖縄県	宮古島のパーントゥ(H5)	宮古島市
山形県	遊佐の小正月行事(H11)	遊佐町
宮城県	米川の水かぶり(H12)	登米市
佐賀県	見島のカセドリ(H15)	佐賀市
岩手県	吉浜のスネカ(H16)	大船渡市
鹿児島県	薩摩硫黄島のメンドン(H29)	三島村
鹿児島県	悪石島のボゼ(H29)	十島村

※ 上記は、国指定年順に記載し、( )は国指定年。